

取扱説明書・追補版

ファームウェアV1.11の新機能

ファームウェアV1.11より、次の新機能を追加しました。

- VAMP再生機能の追加
- メトロノームの機能の追加
- カウントイン機能のクリック音のパターン追加

VAMP再生機能

VAMP再生機能により、ソング内であらかじめ設定したVAMPイン／アウトポイント間を途切れなくVAMP再生（マルチトラックでのループ再生）することができます。

VAMPイン／アウトポイントを設定する

カレントソング内のVAMP再生させたい範囲を設定します。

- レコーダーが停止中に MENU 画面の VAMP 項目を選択し、VAMP 画面を表示します。
設定方法については、取扱説明書「第2章 各部の名称と働き」の「メニュー操作の手順」をご参照ください。



- VAMP 画面の I/O EDIT 項目を選択し、VAMP編集画面を表示します。
VAMP編集画面に **V.EDIT** アイコンが表示されていることを確認します。

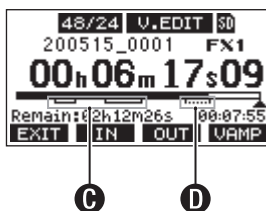


メモ

F4 [VAMP] ボタンを押すと、VAMP再生機能のオン／オフを切り換えます。

アイコン表示	内容
V.EDIT (初期値)	VAMP再生機能：オン
V.EDIT	VAMP再生機能：オフ

- 一時停止中／再生中に、**F2 [IN]** ボタンまたは**F3 [OUT]** ボタンを押して、VAMPインポイントとVAMPアウトポイントを設定します。



- C：設定済みのVAMPイン／アウトポイント
- D：編集時のVAMPイン／アウトポイント

メモ

- VAMPイン／アウトポイントは、1つのソングに10箇所まで設定できます。
- VAMPインポイントとVAMPアウトポイントの間は、2秒以上開けてください。
- VAMPインポイントとVAMPアウトポイントの範囲を重ねて設定することはできません。
- ソングの長さを超えた位置にVAMPイン／アウトポイントを設定することはできません。

メモ

- 下記の時間を超えた位置にVAMPイン／アウトポイントを設定することはできません。

ソングのファイル形式	時間
44.1kHz、16bit	6時間45分
44.1kHz、24bit	4時間30分
48kHz、16bit	6時間12分
48kHz、24bit	4時間8分

- F1 [EXIT]** ボタンを押して、VAMP画面に戻ります。

VAMPポイントの位置へ移動する

レコーダーが停止中／一時停止中／再生中に、**◀◀** ボタンまたは **▶▶** ボタンを押すと、現在位置の手前または次のVAMPポイントの位置へ移動（スキップ）することができます。
スキップすると、ディスプレイの下部にVAMPポイント名がプルアップ表示されます。

任意のVAMPポイントを消去する

VAMP編集画面でレコーダーが停止中／一時停止中に、VAMPポイントを削除することができます。

- 停止中／一時停止中に削除したいVAMPポイントへ移動します。
- VAMPインポイントで**F2 [IN]** ボタンを押すと、VAMPインポイントを消去します。
VAMPアウトポイントで**F3 [OUT]** ボタンを押すと、VAMPアウトポイントを消去します。

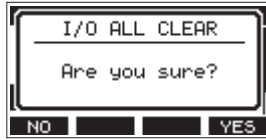
メモ

F2 [IN] ボタンと**F3 [OUT]** ボタンを同時に押すと、現在位置のVAMPインポイントとVAMPアウトポイントを同時に消去します。

全てのVAMPポイントを消去する

設定されているVAMPイン／アウトポイントを消去します。

- レコーダーが停止中に MENU 画面の VAMP 項目を選択し、VAMP 画面を表示します。
- VAMP 画面の I/O ALL CLR 項目を選択し、MULTI JOGダイヤルを押します。
消去の確認画面が表示されます。



- F4 [YES]** ボタンを押して、VAMPイン／アウトポイントの消去を実行します。
VAMPイン／アウトポイントの消去が完了すると、VAMP 画面に戻ります。

注意

消去したVAMPイン／アウトポイントは、元に戻すことはできません。

VAMP再生の動作モードを設定する

VAMP再生機能には、2つの動作モードがあります。

メモ

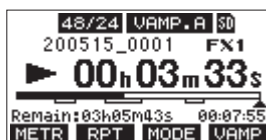
VAMP再生機能中に録音することはできません。

VAMP再生・オートモード

VAMP再生機能で再生中、ソングの再生位置が設定したVAMPインポイントに差しかかると自動的にVAMP再生を行います。
VAMP再生機能で再生中に**F4 [VAMP]** ボタンを押しても、VAMP再生機能はオフになりません。



- VAMPイン／アウトポイントを設定済みのソングを、あらかじめロードしておきます。
- レコーダーが停止中に MENU 画面の VAMP 項目を選択し、VAMP 画面を表示します。
- VAMP 画面の VAMP PLAY 項目を選択し、VAMP再生画面を表示します。
- F3 [MODE]** ボタンを押して、VAMP再生の動作モードを「オートモード」に切り換えます。
VAMP再生画面に **[VAMP.A]** アイコンが表示されていることを確認します。



メモ

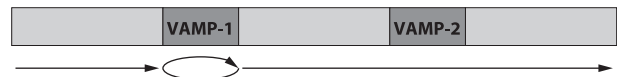
- F1 [METR]** ボタンを押すと、メーター画面を表示します。
- F2 [RPT]** ボタンを押すと、リピート再生機能を切り換えます。
- F3 [MODE]** ボタンを押すと、VAMP再生の動作モードを切り換えます。
- F4 [VAMP]** ボタンを押すと、VAMP再生機能のオン／オフを切り換えます。

アイコン表示	内容
[VAMP.A] (初期値)	動作モード：オートモード VAMP再生機能：オン
[VAMP.A]	動作モード：オートモード VAMP再生機能：オフ

- ▶/||** ボタンを押して、ソングを再生します。
ソングの再生位置が「VAMP-1」に移動すると、自動でVAMP再生を開始します。
F4 [VAMP] ボタンが押されるまで、「VAMP-1」のVAMP再生を行います。
- F4 [VAMP]** ボタンを押すと「VAMP-1」でのVAMP再生を終了し、次のVAMPインポイントまでソングを再生します。
ソングの再生位置が「VAMP-2」に移動すると、自動でVAMP再生を開始します。
F4 [VAMP] ボタンが押されるまで、「VAMP-2」でVAMP再生を行います。
- 以降、VAMPイン／アウトポイントごとに同じ動作を行います。

VAMP再生・マニュアルモード

VAMP再生機能で再生中、手動でVAMP再生機能をオンにすることでVAMP再生を行います。
VAMP再生機能で再生中に**F4 [VAMP]** ボタンを押すと、VAMP再生機能がオンになってVAMP再生を行います。
VAMP再生を終了後、再びVAMP再生機能をオンにするまで、VAMP再生は行われません。



- VAMPイン／アウトポイントを設定済みのソングを、あらかじめロードしておきます。
- レコーダーが停止中に MENU 画面の VAMP 項目を選択し、VAMP 画面を表示します。
- VAMP 画面の VAMP PLAY 項目を選択し、VAMP再生画面を表示します。
- F3 [MODE]** ボタンを押して、VAMP再生の動作モードを「マニュアルモード」に切り換えます。
VAMP再生画面に **[VAMP.M]** アイコンが表示されていることを確認します。



メモ

- F1 [METR]** ボタンを押すと、メーター画面を表示します。
- F2 [RPT]** ボタンを押すと、リピート再生機能を切り換えます。
- F3 [MODE]** ボタンを押すと、VAMP再生の動作モードを切り換えます。
- F4 [VAMP]** ボタンを押すと、VAMP再生機能のオン／オフを切り換えます。

アイコン表示	内容
[VAMP.M]	動作モード：マニュアルモード VAMP再生機能：オン
[VAMP.M] (初期値)	動作モード：マニュアルモード VAMP再生機能：オフ

- ▶/||** ボタンを押して、ソングを再生します。

6. **F4 [VAMP]** ボタンを押すと、VAMP再生機能がオン (**[VAMP.M]**) になります。
ソングの再生位置が「VAMP-1」に移動すると、VAMP再生を開始します。
F4 [VAMP] ボタンが押されるまで、「VAMP-1」のVAMP再生を行います。
7. **F4 [VAMP]** ボタンを押すと「VAMP-1」でのVAMP再生を終了し、ソングを再生します。
VAMP再生機能がオフ (**[VAMP.M]**) になり、VAMPポイントが登録されていてもVAMP再生は行われません。

VAMP再生機能を終了する

- レコーダーが停止中に MENU 画面の VAMP 項目を選択し、VAMP 画面を表示します。
- VAMP 画面の VAMP OFF 項目を選択し、MULTI JOGダイヤルを押します。
VAMP再生機能が終了し、ホーム画面に戻ります。

VAMP再生機能をフットスイッチで操作する

以下の項目を選択すると、VAMP再生機能をフットスイッチ機能に割り当てることができます。
設定方法については、取扱説明書「第9章 さまざまな機能」の「フットスイッチを設定する」をご参照ください。

選択肢	内容
VAMP	VAMP再生機能のオン/オフを切り換えます。 VAMP再生画面の F4 [VAMP] ボタンと同じ動きをします。
VAMP I/O SET	VAMP編集画面にてVAMPイン/アウトポイントの設定、VAMP再生機能の制御ができます。 <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中または再生中、1回目に押すとVAMPインポイントを設定します。 一時停止中または再生中、2回目に押すとVAMPアウトポイントの設定します。 VAMP再生中に押すと、VAMP再生をオフにすることができます。

VAMP再生機能のメッセージ追加

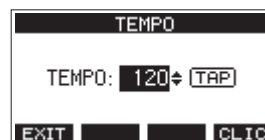
メッセージ	内容と対処方法
I/O Too short	AUTO PUNCH 画面では、パンチインポイントとパンチアウトポイントの間隔が短すぎます。1秒以上空けて設定してください。 VAMP編集画面では、VAMPイン/アウトポイントの間隔が短すぎます。2秒以上空けて設定してください。

メッセージ	内容と対処方法
Invalid I/O point	AUTO PUNCH 画面で設定したパンチインポイント/アウトポイントの設定が正しくありません。 オートパンチイン/アウトを実行時に、パンチインポイントまたはアウトポイントに対して不正な位置でオートパンチイン/アウトを行いました。 正しい位置からオートパンチ動作を始めてください。 VAMP編集画面で設定したVAMPイン/アウトポイントの設定が正しくありません。 VAMPインポイントまたはVAMPアウトポイントの位置を変更してください。
VAMP MODE: cannot record	VAMP再生画面およびVAMP編集画面を表示中、録音することはできません。録音するには、VAMP再生機能を終了してください。
VAMP MODE: A.PUNCH disabled	VAMP再生画面を表示中、オートパンチイン/アウト機能の設定はできません。 オートパンチイン/アウト機能の設定をするには、VAMP再生機能を終了してください。
VAMP full	VAMPイン/アウトポイントの設定は、1つのソングに10箇所までです。 不要なVAMPイン/アウトポイントを消去してください。

メトロノームの追加機能

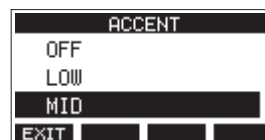
TEMPO画面の追加機能

TEMPO 画面で**F4 [CLIC]** ボタンを押すと、テンポを設定中にクリック音の発音をオン/オフができます。



メトロノームの設定項目の追加

ACCENT 項目が追加され、クリック音のアクセントの強さを設定することができます。



選択肢：OFF、LOW、MID（初期値）、HIGH

カウントイン機能のクリック音のパターン追加

クリック音のパターンに「4 SIGNATURES」を追加しました。

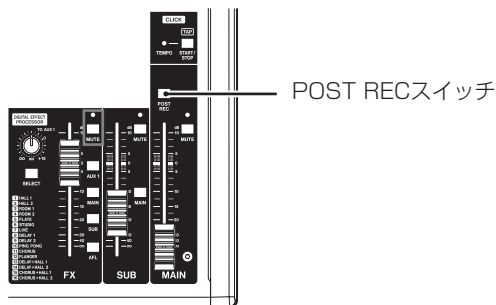


OBS Studioなどの配信用アプリケーションで使用するための設定方法

ここに記載した手順は、配信用アプリケーションを起動する前に行ってください。

Model 12本体の設定

1. Model 12本体のUSBオーディオモードを「STEREO MIX」に設定します。
設定方法については、取扱説明書「第12章 USBオーディオインターフェース」の「USBオーディオモード」をご参照ください。
2. 配信する音声にMAINフェーダーを有効にするため、POST RECスイッチを「オン」にします。



- Macの場合は、上記の対応で配信用アプリケーションをご使用いただけます。

パソコンのサウンド設定 (Windows)

パソコンの入出力デバイス、サンプリング周波数、ビットレートおよびチャンネル数を使用する環境に合わせて設定します。

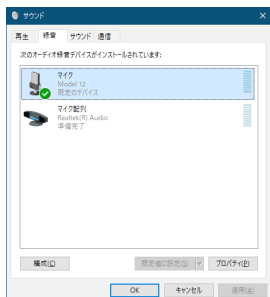
1. 「サウンド」の設定画面を開きます。



メモ

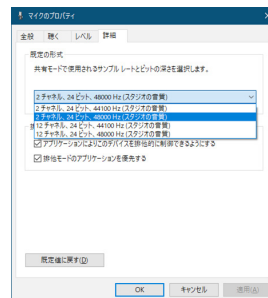
デスクトップ画面の右下のサウンドアイコンを右クリックし、「サウンドの設定を開く」から「サウンド」を開くことも可能です。

2. 出力デバイス項目を「スピーカー Model 12」に設定します。
3. 入力デバイス項目を「マイク (Model 12)」に設定します。
4. 「サウンド コントロール パネル」をクリックし、「サウンド画面」を開きます。
5. 「録音」タブ画面を表示し、「Model 12」を選択します。



6. 「Model 12」の「プロパティ」をクリックし、「マイクのプロパティ」画面を開きます。

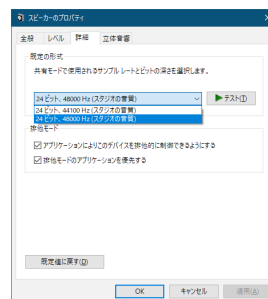
7. 「詳細」タブ画面を表示し、「既定の形式」を設定します。



- OBS Studioなどの2チャンネルのオーディオデバイスを対象とするアプリケーションを使用する場合は、2チャンネルの設定を選択します。それ以外の場合は、12チャンネルを選択します。
 - サンプルレートは、本機にロードするソングのサンプルレートに合わせてください。ソングをロードしない場合は、いずれのサンプルレートも使用できます。
8. 「再生」タブ画面を表示し、「スピーカー (Model 12)」を選択します。



9. 「スピーカー (Model 12)」の「プロパティ」をクリックし、「スピーカーのプロパティ」画面を開きます。
10. 「詳細」タブ画面を表示し、「既定の形式」を設定します。
「再生」タブ画面の「既定の形式」の設定は、「録音」タブ画面で設定したサンプルレートとビットの深さに設定してください。



11. 配信アプリケーションを起動し、配信などを行います。
12. 配信終了後、マルチチャンネルを使用する他のソフトウェアを使用する場合は、設定を「マルチチャンネル」に戻します。
 - 手順1. のUSBオーディオモードの設定を「MULTI INPUT」にします。
 - 手順7. のマイクのプロパティの設定を「12チャンネル」の設定にします。